



2月号 令和2年2月17日(月) 豊田西高校 SSH委員会

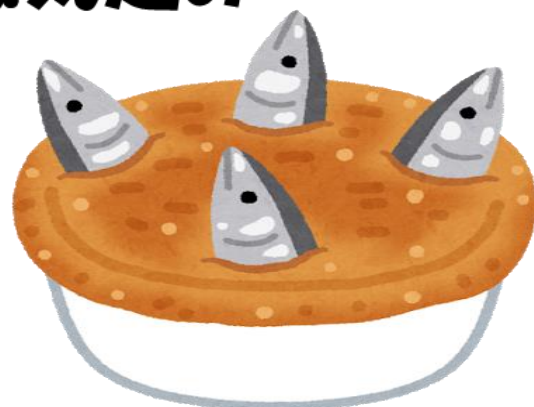
中間発表会の感想

西校の生徒だけでなく、外部から来た人の前で発表することは良い経験になった。また、大学の先生からは、今までに無かった視点からのアドバイスが貰え、とてもためになった。全体として、質問をする人が先生や一部の二年生に限られていた気がした。何も知らない人でも分かりやすいようにする発表者の工夫と、一年生でも質問しやすい状況を作る工夫がもう少しあると良いと感じた。

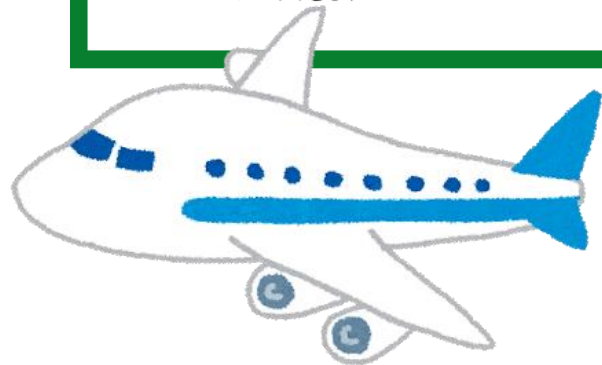
先日の中間発表会は自分達の調べてきた研究を一年生、二年生だけでなく多くの外部の方や先生方に聞いて頂く機会がありとても有意義な時間になりました。しかし、自分達が気づけなかった改善点を指摘して頂き、また多くの質問を受け、自分達の研究がまだまだであることを実感しました。夏にある最後の発表では、より良い結果が出せるように残りの時間を大切にしていきたいです。

海外研修の意気込み

イギリス研修では、積極的にコミュニケーションを取り、現地の文化や雰囲気を感じていきたいです。また、研究発表では練習の成果を十二分に発揮して学びを深められるよう頑張ります！



なかなか得ることのできない貴重な機会なので、様々なものを自分の目で見て、感じて、吸収していきたいです。3月に成長した姿で帰ってくる事ができるように精一杯頑張ります。



今月の科学

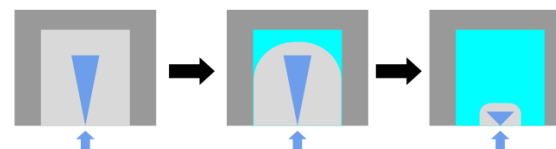
ファミレスの氷が絶対へこんでいるのはなぜ？

答えは「透明度」にあった！！



家庭用の製氷機のように水を溜めて凍らせると、その中に紛れ込んだ細かい気泡やチリなどの不純物がそのまま氷に閉じ込められてしまう。不純物が多い氷は透明度が低く、また溶けやすいので飲み物がすぐに薄まってしまう。

ファミレスなどで提供される氷が、溶けやすくは困る。そこで、透明度が高い、すなわち不純物が少ない氷を製造する方法を採用しているわけだ。この方法



は「セル方式」といい、どのメーカーの業務用製氷機でも使われている。伏せるように置いた氷の型に向かって、下から水を噴き上げながら凍らせていく方法だ

セル方式で水を流しながら固めた氷は、外側からじっくり凍っていくので不純物が少なく、透明で硬い飲み物にピッタリの氷になるのだ。セル方式では、水の噴き出しの近くは凍らないので、完成したブロック状の氷は1箇所だけ穴が開いたようになる。これがくぼみのある氷の正体。

水は簡単に流れ落ちるもの。しかし「型をひっくり返して水を当て続ける」という、文字通り逆転の発想を取り入れることでできたのが、ファミレスの穴付き氷だった。身近なところにこんな工夫がされているなんて驚きである。

参考文献

ファミレスの氷が絶対へこんでいるのはなぜ？ 必要ある？

<https://quizkonck.com>